

地域密着型サービス事業所実績報告

資料 1

認知症対応型共同生活介護事業者（グループホーム）	P 1 ～ P 3 3
・ ガーデンコート南流山	P 1 ～ P 3
・ グループホーム「わたしの家」	P 4 ～ P 6
・ マザアスホームだんらん流山	P 7 ～ P 9
・ あぜみち	P 1 0 ～ P 1 2
・ クララ清流	P 1 3 ～ P 1 5
・ 愛の家グループホーム流山美原	P 1 6 ～ P 1 8
・ 愛の家グループホーム南流山	P 1 9 ～ P 2 1
・ グループホーム「和」	P 2 2 ～ P 2 4
・ クララ清流式番館	P 2 5 ～ P 2 7
・ 花いちもんめ	P 2 8 ～ P 3 0
・ 花いちもんめ翠	P 3 1 ～ P 3 3
認知症対応型通所介護（デイサービス）	P 3 4 ～ P 3 7
・ デイサービスセンターわたしの家	P 3 4 ～ P 3 5
・ 花いちもんめ	P 3 6 ～ P 3 7
小規模多機能型居宅介護	P 3 8 ～ P 5 3
・ ひまわりの家	P 3 8 ～ P 4 1
・ 小規模多機能「和」	P 4 2 ～ P 4 5
・ 小規模多機能ホームほのぼのかん	P 4 6 ～ P 4 9
・ 多機能ホーム春の苑	P 5 0 ～ P 5 3
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	P 5 4 ～ P 5 5
・ 24時間サポート流山	P 5 4 ～ P 5 5
夜間対応型訪問介護	P 5 6 ～ P 5 7
・ 24時間サポート流山	P 5 6 ～ P 5 7
地域密着型介護老人福祉施設	P 5 8 ～ P 6 0
・ 特別養護老人ホーム春の苑	P 5 8 ～ P 6 0

1. 平成25年度実績報告での平成26年度の方針・目標

平成26年度新規開設事業所のため平成25年度実績報告はありません

2. 上記1の目標・方針に対する平成26年度の具体的取組(内容、頻度等詳しくお書きください)

平成26年度新規開設事業所のため平成25年度実績報告はありません

3-1. 平成26年度のケアについての取組及びその課題

お客様が徐々にご入居された為、お客様自身のペースに合わせた介護が出来たと思います。また、認知症の症状や身体レベルがご入居の段階で悪化されているケースが多いと思います。ご入居されてある一定の状態(不安の解消等)は幾分解消されてきましたが、徐々にレベルの低下が予想されますので、医療との連携を図りつつ、スタッフ個々のスキルアップを目指していきたいと思

3-2. 平成26年度のリスクマネジメントへの取組と課題に感じたこと(事故・ヒヤリハット等)

お客様の人数が少なく、また徐々に入居されたので、比較的関わりが多かったように思えました。(スタッフがお客様に慣れる時間が長かった事は利点)1対1以上の関わりが出来、事故予防ができたと思います。今後の課題としては、状態の低下に伴うリスクは付き物ですので、情報の共有や対処方法等、日々の申し送りや会議、サービス担当者会議等でスタッフ間の連携を強化していきたいと思

3-3. 平成26年度の地域との関わりを持つための活動と課題

1年間で急速な街づくりが形成された地域であり、今後、密な関係構築が必要かと思

4. 平成26年度運営推進会議実施回数

5回

5-1. 介護支援サポーターの受入れ回数

0回

5-2. (介護支援サポーターが活動している(た)場合の)活動内容

6. 介護相談員の受け入れを行っていますか。(平成26年3月31日現在)

はい・ ☒ いいえ

7. 平成26年度防災訓練・避難訓練実施回数

2回

8. 平成26年度に市に事故報告書を提出した件数

1件

9. 平成26年度看取り件数

0件

10-1. 平成26年度苦情件数

1件

10-2. 平成26年度に受けた苦情の主な内容・対応方法

退去時に居室クリーニング代を頂く旨、契約時及び退去時にご家族様にお伝えしていましたが、請求後に、クリーニング代はいらないとされたとの連絡がありました。破損等の修繕費用(原状回復)と居室クリーニングと混同したかと思われます。行政に報告済。

11. 相談を受けたがサービス利用に至らなかった主な理由

料金の部分、他施設に決まった、他施設との比較等が主な理由です。

12. 入居者・待機者等の状況

(1) 平成26年度(H26.4~H27.3)1年間の状況

①年齢別状況

(人)

	平成26年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平成27年1月	2月	3月
入居者	1人	2人	3人	5人	5人	5人	6人	6人	6人	5人	5人	6人
退去者	人	人	人	人	人	人	人	人	人	1人	人	人

②男女別状況

(人)

	男	女	総数
入居者	4	3	7
退去者	0	1	1

③介護度別

(人)

	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	総数
入居者	0	0	0	3	2	1	6
退去者	0	0	0	0	1	0	1

(2) H26.3.31現在の状況

①年齢別状況

(人)

	65歳未満	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85~89歳	90歳以上	総数
入居者	0	0	1	1	3	0	1	6

②男女別状況

(人)

	男	女	総数
入居者	4	2	6

③介護度別待機者

(人)

	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	総数
待機者	0	0	0	0	0	0	0

(3) 平均入居期間 0年 7カ月(現入居者について)

(4) 平均待機期間 年 カ月

(5) 今年1年間の退去の主な理由

他施設入居の為。(1名)

13. 短期入所利用状況(短期入所の届出がある場合のみ)

(1) 年齢別利用人数(H26.4～H27.3の1年間の状況) (人)

	65歳未満	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	総数
実人数	0	0	0	0	0	0	0	0
延人数	0	0	0	0	0	0	0	0

(2) 男女別利用人数(H26.4～H27.3の1年間の状況) (人)

	男	女	総数
実人数	0	0	0
延人数	0	0	0

(3) 介護度別利用人数 (H26.4～H27.3の1年間の状況) (人)

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	総数
実人数	0	0	0	0	0	0	0	0
延人数	0	0	0	0	0	0	0	0

(4) 利用日数 (H26.4～H27.3の1年間の状況) (人)

	3日以内	7日以内	10日以内	14日以内	15日以上	21日以上	30日以上	総数
実人数	0	0	0	0	0	0	0	0
延人数	0	0	0	0	0	0	0	0

14. 平成26年度の実績や課題を踏まえて、平成27年度はどのような方針や目標で運営しようと思っていますか。
また、その方針や目標に対して具体的にどのような取組をしますか。

(方針・目標)

今後でもできる限りお客様のペースを守っていきながら、小さな事でも役割をもって生活出来るように支えていきたいと思っています。

(取組み)

ミッケルアート(回想法の一種)の導入を27年度行いたいと思っています。天候が悪くない限り散歩など戸外に出かける事が出来ていますので、継続していきたいと思っています。(お客様のニーズは多いので)

スタッフの質の向上として、定期的な研修や社内外の研修を受講し、自己研鑽に努めたいと思っています。

1. 平成25年度実績報告での平成26年度の方針・目標

方針: 安心、尊厳、信頼をモットーとしたケアを行う。

⇒ 勉強会等で職員一人ひとりが意識付けを行えるようにする。

目標: 利用者一人ひとりが穏やかに過ごせる。

⇒ 利用者一人ひとりがゆとりを持てるように、職員がゆとりをもってケアを行う。

・チームワークの強化。

・職員のスキルアップ

2. 上記1の目標・方針に対する平成26年度の具体的取組(内容、頻度等詳しくお書きください)

利用者の状態(身体的)低下する方々が多く、身体介護中心の1年間であったが、1人1人の状況に合わせたケアが行えた。

外部研修の参加を増やした。

3-1. 平成26年度のケアについての取組及びその課題

上記の通り、身体ケアが中心の1年であったので、重度化と共に、なかなか 外出する機会がもてなかった。

3-2. 平成26年度のリスクマネジメントへの取組と課題に感じたこと(事故・ヒヤリハット等)

取り組みに対しては、秋頃に外部講師を招き、リスクマネジメントの勉強会を行い、理解すると共に、何か起きた時の記録の重要性・初動対応の重要性を学んだので活かしていきたい。

3-3. 平成26年度の地域との関わりを持つための活動と課題

夕涼み会に招いたり、地域の地区社協主催の老人向け行事に積極的に参加した。

4. 平成26年度運営推進会議実施回数

3回

5-1. 介護支援サポーターの受入れ回数

70回

5-2. (介護支援サポーターが活動している(た)場合の)活動内容

- ・ 外気浴の手伝い
- ・ ハーモニカによる唄会
- ・ 庭仕事

6. 介護相談員の受け入れを行っていますか。(平成26年3月31日現在)

○ はい

7. 平成26年度防災訓練・避難訓練実施回数

2回

8. 平成26年度に市に事故報告書を提出した件数

3件

9. 平成26年度看取り件数

0件

10-1. 平成26年度苦情件数

0件

10-2. 平成26年度に受けた苦情の主な内容・対応方法

--

11. 相談を受けたがサービス利用に至らなかった主な理由

--

12. 入居者・待機者等の状況

(1) 平成26年度(H26.4～H27.3)1年間の状況

①年齢別状況

(人)

	平成26年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平成27年1月	2月	3月
入居者	15人	15人	15人	15人	15人	15人	15人	15人	15人	15人	15人	15人
退去者	1人	1人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	1人	0人	0人

②男女別状況

(人)

	男	女	総数
入居者		4	4
退去者	1	2	3

③介護度別

(人)

	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	総数
入居者			3	3	3	6	15
退去者						3	3

(2) H26.3.31現在の状況

①年齢別状況

(人)

	65歳未満	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	総数
入居者				2	4	3	6	15

②男女別状況

(人)

	男	女	総数
入居者	3	12	15

③介護度別待機者

(人)

	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	総数
待機者				1			1

(3)平均入居期間 3 年 8 カ月(現入居者について)

(4)平均待機期間 年 3 カ月

(5)今年1年間の退去の主な理由

特養への転居

13. 短期入所利用状況(短期入所の届出がある場合のみ)

(1)年齢別利用人数(H26.4～H27.3の1年間の状況) (人)

	65歳未満	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	総 数
実人数								0
延人数								0

(2)男女別利用人数(H26.4～H27.3の1年間の状況)(人)

	男	女	総数
実人数			0
延人数			0

(3)介護度別利用人数 (H26.4～H27.3の1年間の状況) (人)

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	総 数
実人数								0
延人数								0

(4)利用日数 (H26.4～H27.3の1年間の状況) (人)

	3日以内	7日以内	10日以内	14日以内	15日以上	21日以上	30日以上	総数
実人数								0
延人数								0

14. 平成26年度の実績や課題を踏まえて、平成27年度はどのような方針や目標で運営しようと思っていますか。

また、その方針や目標に対して具体的にどのような取組をしますか。

(方針・目標) 安心・尊厳・信頼をモットーに、身体状況に応じて、個別ケアを行う。

(取り組み) 特に歩ける方々への支援があまり出来なかったので、外出や外食の機会を積極的にもてるようにしていく。

1. 平成25年度実績報告での平成26年度の方針・目標

1. 安心と安全の充実(介護力・目配り・気配り等)
2. 我家の雰囲気(ご入居者及びご家族が気兼ねなく過ごせる。
3. 長く暮らせる施設作り(看取りも視野に入れての対応)

—テーマとして—

グループホームの壁を越えた施設を目指す

2. 上記1の目標・方針に対する平成26年度の具体的取組(内容、頻度等詳しくお書きください)

1. ミティングやカンファを通じて、問題点を出し合って対応を考え共有をした。ワーカーが何処にいるかわかるように声を掛け合っ事故のないようにした。
2. 「大家族」をテーマに家族会・外出・イベント等にも、ご家族に声をかけて参加を促した。
3. 今年度は、2名様(の看取りを通じて、職員の経験が深まり自信を持つことが出来た。その様な経験を積むことで、入院をされても早めの退院をして頂く人材の育成と環境が出来た。

3-1. 平成26年度のケアについての取組及びその課題

1. ご入居者のADLの変化があると、職員のカンファから看護師への連携(時には主治医にも相談をする)し、ご家族への報告・相談をして、共に考えてケアの内容を決めて共有をしたことを、連絡ノートやミーティングで伝えるが、チームケアの徹底がされていない時があった。基本は、声掛け見守りですが、何処まで手をさしのべて良いのか迷う事がある。

3-2. 平成26年度のリスクマネジメントへの取組と課題に感じたこと(事故・ヒヤリハット等)

長く暮らせる施設を考えていますが、徐々にADLが低下をして転倒のリスクが大きくなるが、身体拘束(センサー等)は絶対にしてはいけないとなると、職員の緊張や負担が継続する。特に夜間の一人勤務はリスクが大きくてストレスを感じている。職員の介護への意欲の低下や確保が難しいと感じています。

3-3. 平成26年度の地域との関わりを持つための活動と課題

1. 近隣の行事に参加をし続けているので、顔を覚えて頂けるようになった。
2. 近隣の方が運営推進会議やボランティアに参加をして頂いているので、何かがあればお手伝いをしますと言って頂けるようになった。
3. 一昨年に流山市の方には、職場体験や地域探検等を受けられますと伝えていますが連絡が来ない。
4. 職員等が近隣ではないので近隣の組織や顔が見えてこない。

4. 平成26年度運営推進会議実施回数

6 回

5-1. 介護支援サポーターの受入れ回数

120 回(延べ、10人/月)

5-2. (介護支援サポーターが活動している(た)場合の)活動内容

・傾聴、散歩、囲碁、個別対応、行事の手伝い等々

6. 介護相談員の受け入れを行っていますか。(平成26年3月31日現在)

○ はい、いいえ

7. 平成26年度防災訓練・避難訓練実施回数

3 回

8. 平成26年度に市に事故報告書を提出した件数

1 件

9. 平成26年度看取り件数

2 件

10-1. 平成26年度苦情件数

0 件

10-2. 平成26年度に受けた苦情の主な内容・対応方法

--

11. 相談を受けたがサービス利用に至らなかった主な理由

--

12. 入居者・待機者等の状況

(1) 平成26年度(H26.4～H27.3)1年間の状況

①年齢別状況

(人)

	平成26年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平成27年1月	2月	3月
入居者	9人	9人	9人	9人	9人	8人	8人	9人	9人	9人	7人	7人
退去者	人	人	人	人	人	1人	人	人	人	人	1人	人

②男女別状況

(人)

	男	女	総数
入居者		1	1
退去者		2	2

③介護度別

(人)

	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	総数
入居者		2	1		2	2	7
退去者			1			1	2

(2) H26.3.31現在の状況

①年齢別状況

(人)

	65歳未満	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	総数
入居者				1	2	1	3	7

②男女別状況

(人)

	男	女	総数
入居者	1	6	7

③介護度別待機者

(人)

	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	総数
待機者							

(3) 平均入居期間 4 年 3カ月(現入居者について)

(4) 平均待機期間 年 カ月

(5) 今年1年間の退去の主な理由

ご逝去・・・2名様

13. 短期入所利用状況(短期入所の届出がある場合のみ)

(1) 年齢別利用人数(H26.4～H27.3の1年間の状況) (人)

	65歳未満	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	総 数
実人数								
延人数								

(2) 男女別利用人数(H26.4～H27.3の1年間の状況)(人)

	男	女	総数
実人数			
延人数			

(3) 介護度別利用人数 (H26.4～H27.3の1年間の状況) (人)

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	総 数
実人数								
延人数								

(4) 利用日数 (H26.4～H27.3の1年間の状況) (人)

	3日以内	7日以内	10日以内	14日以内	15日以上	21日以上	30日以上	総数
実人数								
延人数								

14. 平成26年度の実績や課題を踏まえて、平成27年度はどのような方針や目標で運営しようと思っていますか。

また、その方針や目標に対して具体的にどのような取組をしますか。

(方針・目標)

グループホームの壁を越えた施設作り(地域に信頼をされ安心感があり、笑いや笑顔を届けられる施設の構築)

1. 家族的で開放的な雰囲気作りをする。
2. 健康面や医療面の充実をする。

(取組み)

1. 屋外や玄関を開放的にする
 - ・「大家族」としての繋がりを大切にする。
 - ・「実家への里帰り」をテーマに、フリーサロンを毎月開催する。
2. 働き易い職場作りを通して、重度化や見取のできる環境と体制作りをする。

1. 平成25年度実績報告での平成26年度の方針・目標

- ・ご家族との連携を強め、協力体制を敷いていきたいと考えます。
具体的には定期的にご家族との面談をし、直接声を聴ける機会を作っていくつもりです。

2. 上記1の目標・方針に対する平成26年度の具体的取組(内容、頻度等詳しくお書きください)

- ・ご家族が面会に来られた時に、普段の様子・気になっていること等お知らせしている(月1回以上)。
- ・半年に1度ケア会議日を決め、ホーム長・担当スタッフを交えてゆっくりご家族の声を聴く機会を設けている。

3-1. 平成26年度のケアについての取組及びその課題

- ・介護度の違いによる個別ケアを意識して取り組んでいた。
- ・身体介護の軽い方へのアクティブな関わりを重視。
- ・介護者により介護(関わり)の質に差があるので対策を講じる必要がある(課題)。

3-2. 平成26年度のリスクマネジメントへの取組と課題に感じたこと(事故・ヒヤリハット等)

- ・日頃のケアの中でのヒヤリハットをミーティング等で話し合い、原因を探り対策を練っていく。
- ・対策をとっていたつもりが、介護者の気の緩みでインシデントにつながった。対策への周知徹底、介護者の心理的ケアにも気を配る(課題)。

3-3. 平成26年度の地域との関わりを持つための活動と課題

- ・自治会活動(ゴミゼロ運動・神社清掃等)への参加。
- ・夏祭り、野外コンサート等地域のイベント情報を見逃さず参加。
- ・近隣の高校合唱部との交流。
- ・当事業所の参加見学をPRしていく(課題)。

4. 平成26年度運営推進会議実施回数

6回

5-1. 介護支援サポーターの受入れ回数

80回

5-2. (介護支援サポーターが活動している(た)場合の)活動内容

- ・傾聴
- ・散歩の付き添い
- ・積極的なレクリエーション(紙芝居、語り、歌唱、踊り)
- 外出支援の付き添い

6. 介護相談員の受け入れを行っていますか。(平成26年3月31日現在)

はい ☒ いいえ

7. 平成26年度防災訓練・避難訓練実施回数

2回

8. 平成26年度に市に事故報告書を提出した件数

0件

9. 平成26年度看取り件数

1件

10-1. 平成26年度苦情件数

0件

10-2. 平成26年度に受けた苦情の主な内容・対応方法

--

11. 相談を受けたがサービス利用に至らなかった主な理由

ご家族は利用を考えていたが、ご本人が納得されなくて見送られた。

--

12. 入居者・待機者等の状況

(1) 平成26年度(H26.4～H27.3)1年間の状況

①年齢別状況

(人)

	平成26年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平成27年1月	2月	3月
入居者	9人	9人	9人	9人	9人	9人	8人	8人	8人	9人	9人	8人
退去者	0人	0人	0人	0人	0人	0人	1人	1人	0人	0人	0人	1人

②男女別状況

(人)

	男	女	総数
入居者	0	2	2
退去者	0	3	3

③介護度別

(人)

	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	総数
入居者	0	0	2	2	3	1	8
退去者	0	1	0	0	0	2	3

(2) H27.3.31現在の状況

①年齢別状況

(人)

	65歳未満	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	総数
入居者	0	0	2	2	1	2	1	8

②男女別状況

(人)

	男	女	総数
入居者	0	8	8

③介護度別待機者

(人)

	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	総数
待機者	0	0	0	0	2	1	3

(3) 平均入居期間 3年 1カ月(現入居者について)

(4) 平均待機期間 年 7カ月

(5) 今年1年間の退去の主な理由

・脳出血による病院での死亡。
・老衰による看取り。
・特養への入所。

13. 短期入所利用状況(短期入所の届出がある場合のみ)

(1) 年齢別利用人数(H26.4～H27.3の1年間の状況) (人)

	65歳未満	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	総 数
実人数	0	0	0	0	0	0	0	0
延人数	0	0	0	0	0	0	0	0

(2) 男女別利用人数(H26.4～H27.3の1年間の状況)(人)

	男	女	総数
実人数	0	0	0
延人数	0	0	0

(3) 介護度別利用人数 (H26.4～H27.3の1年間の状況) (人)

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	総 数
実人数	0	0	0	0	0	0	0	0
延人数	0	0	0	0	0	0	0	0

(4) 利用日数 (H26.4～H27.3の1年間の状況) (人)

	3日以内	7日以内	10日以内	14日以内	15日以上	21日以上	30日以上	総数
実人数	0	0	0	0	0	0	0	0
延人数	0	0	0	0	0	0	0	0

14. 平成26年度の実績や課題を踏まえて、平成27年度はどのような方針や目標で運営しようと思っていますか。

また、その方針や目標に対して具体的にどのような取組をしますか。

(方針・目標)

・ご家族との連携を深める為に、発刊物を増やし情報をお伝えしていく。その上で話し合いの機会を設け、協力体制を築けていけるようにする。

(取組み)

・ご家族が付き添って定期受診される時を利用して個別に話し合いの時間を持つよう準備する。
・毎月、活動報告に加えて健康面(身体的・心理的)での状況を文書で発信していく。

1. 平成25年度実績報告での平成26年度の方針・目標

利用定員の満床を目指し、維持する。

事故・けがの無いようにする。

ケアにおいては、残存機能を活かし、認知症ケアに熟達する。そのために、ミーティングを定期的に行い、スタッフを教育する。

地域に向けて開いた施設を目指し、お茶会などのイベントを企画する。

2. 上記1の目標・方針に対する平成26年度の具体的取組(内容、頻度等詳しくお書きください)

満床を維持するため、ご家族様と定期的に面談し、ご家族様の求めるケアを行っている。

残存機能を活かしたケアを継続している。

3-1. 平成26年度のケアについての取組及びその課題

「下肢筋力低下を防ごう」とのスローガンを掲げ、日に二回の散歩や運動を継続的に行っている。

3-2. 平成26年度のリスクマネジメントへの取組と課題に感じたこと(事故・ヒヤリハット等)

夜間転倒の可能性がある入居者様があり、筋力が向上するとリスクが減ることから、更なる取り組みが必要。

3-3. 平成26年度の地域との関わりを持つための活動と課題

地元の町内会長様や民生委員、福祉部長様へ運営会議、もしくは消防訓練のご参加をお願いし、ご協力頂くことができた。開かれた施設として、地域の方々との交流の機会を持つためのイベントを企画することができなかった。次年度への課題としたい。

4. 平成26年度運営推進会議実施回数

3回

5-1. 介護支援サポーターの受入れ回数

0回

5-2. (介護支援サポーターが活動している(た)場合の)活動内容

6. 介護相談員の受け入れを行っていますか。(平成26年3月31日現在)

☒ はい ☐ いいえ

7. 平成26年度防災訓練・避難訓練実施回数

2回

8. 平成26年度に市に事故報告書を提出した件数

0件

9. 平成26年度看取り件数

0件

10-1. 平成26年度苦情件数

0件

10-2. 平成26年度に受けた苦情の主な内容・対応方法

--

11. 相談を受けたがサービス利用に至らなかった主な理由

満床のため

--

12. 入居者・待機者等の状況

(1) 平成26年度(H26.4~H27.3)1年間の状況

①年齢別状況

(人)

	平成26年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平成27年1月	2月	3月
入居者	9人	9人	9人	9人	9人	9人	9人	9人	9人	9人	9人	9人
退去者	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人

②男女別状況

(人)

	男	女	総数
入居者	0	0	0
退去者	0	0	0

③介護度別

(人)

	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	総数
入居者	0	0	3	4	2	0	9
退去者	0	0	0	0	0	0	0

(2) H26.3.31現在の状況

①年齢別状況

(人)

	65歳未満	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85~89歳	90歳以上	総数
入居者				1	3	3	2	9

②男女別状況

(人)

	男	女	総数
入居者	4	5	9

③介護度別待機者

(人)

	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	総数
待機者							

(3)平均入居期間 2年 9カ月(現入居者について)

(4)平均待機期間 年 カ月

(5)今年1年間の退去の主な理由

--

13. 短期入所利用状況(短期入所の届出がある場合のみ)

(1)年齢別利用人数(H26.4～H27.3の1年間の状況) (人)

	65歳未満	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	総 数
実人数								
延人数								

(2)男女別利用人数(H26.4～H27.3の1年間の状況)(人)

	男	女	総数
実人数			
延人数			

(3)介護度別利用人数 (H26.4～H27.3の1年間の状況) (人)

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	総 数
実人数								
延人数								

(4)利用日数 (H26.4～H27.3の1年間の状況) (人)

	3日以内	7日以内	10日以内	14日以内	15日以上	21日以上	30日以上	総数
実人数								
延人数								

14. 平成26年度の実績や課題を踏まえて、平成27年度はどのような方針や目標で運営しようと思っていますか。

また、その方針や目標に対して具体的にどのような取組をしますか。

(方針・目標)

満床を継続させ、ご入居者様が喜んで生活して頂けるよう努める。

(取組み)

身体機能の低下を防ぐ。残存機能を活かした生活をして頂けるよう、運動・散歩・外出を強化する。

認知機能の低下を防ぐ。レク・計算会などの強化。

1. 平成25年度実績報告での平成26年度の方針・目標

本年度は、必要数の職員確保ができましたので、安定して働き続けられる環境を継続して整備してまいります。

現在の職員平均年齢が30代と若い為、礼節などの基本的マナーの教育をしつつ、新しい発想で入居者様にとって輝きのある生活を提供してまいりたいと思います。また、前年度も掲げました通り、看取りに関しても理念の共有と研修を行っていききたいと思います。

2. 上記1の目標・方針に対する平成26年度の具体的取組(内容、頻度等詳しくお書きください)

月一回の社内研修を通じ、社会人としての基本や、介護の基本に関する事を全員で学ぶ機会を設けました。

夏祭りや、敬老会、クリスマス会などは新しい職員に企画立案を任せ、これまでにない楽しく盛り上がるイベントが出来ました。

職員についても離職は1名(病気理由)と安定を図る事が出来ました。

3-1. 平成26年度のケアについての取組及びその課題

徐々に重度化を増す方と、新しく入居され元気一杯の方とで共同生活を行って行く事が時として弊害になる事もあり、その方お一人お一人に合わせたケアを実施。 外出等も個別ケアを重視し、ご家族と共に帰省するなどの企画を実行しました。 今後の課題としては、全員に平均的なケアをして差し上げられない場面もあり、もう一步の工夫が必要と感じております。

3-2. 平成26年度のリスクマネジメントへの取組と課題に感じたこと(事故・ヒヤリハット等)

介護度が低い方が多くなった半面、見守りが利かない場所での小さな転倒や、怪我などがありました。ほぼ自立している為介入のタイミングが難しい場面がありました。

また、転倒骨折は一件発生し入院手術で戻られていますが、ADLは大きく低下させてしまいました。昨年度に引き続き、リスク低減に努められるよう、全員での情報共有を行ってまいります。

3-3. 平成26年度の地域との関わりを持つための活動と課題

昨年度も掲げましたとおり、引き続き各種イベントへのご招待、呼び込みを行ってまいります。地域の子供たちが気軽に立ち寄れるような環境作りを実行していききたいと思います。

4. 平成26年度運営推進会議実施回数

4回

5-1. 介護支援サポーターの受入れ回数

136回

5-2. (介護支援サポーターが活動している(た)場合の)活動内容

入居者様の話し相手、見守り、散歩の補助、各種イベント等の運営補助

6. 介護相談員の受け入れを行っていますか。(平成26年3月31日現在)

はい・いいえ

7. 平成26年度防災訓練・避難訓練実施回数

2回

8. 平成26年度に市に事故報告書を提出した件数

1件

9. 平成26年度看取り件数

0件

10-1. 平成26年度苦情件数

0件

10-2. 平成26年度に受けた苦情の主な内容・対応方法

11. 相談を受けたがサービス利用に至らなかった主な理由

満床であった為

12. 入居者・待機者等の状況

(1) 平成26年度(H26.4～H27.3)1年間の状況

① 年齢別状況

(人)

	平成26年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平成27年1月	2月	3月
入居者	18人	17人	18人	17人	18人	18人	18人	18人	17人	18人	18人	18人
退去者	0人	1人	0人	1人	0人	0人	0人	0人	1人	0人	0人	0人

② 男女別状況

(人)

	男	女	総数
入居者	0	3	3
退去者	1	2	3

③ 介護度別

(人)

	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	総数
入居者	0	4	4	3	5	2	18
退去者	0	0	0	1	0	2	3

(2) H26.3.31現在の状況

① 年齢別状況

(人)

	65歳未満	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	総数
入居者					6	5	7	18

② 男女別状況

(人)

	男	女	総数
入居者	1	17	18

③ 介護度別待機者

(人)

	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	総数
待機者		1	2				3

(3)平均入居期間 2 年 3 カ月(現入居者について)

(4)平均待機期間 年 8 カ月

(5)今年1年間の退去の主な理由

病気によるご逝去によるもの。

13. 短期入所利用状況(短期入所の届出がある場合のみ)

(1)年齢別利用人数(H26.4～H27.3の1年間の状況) (人)

	65歳未満	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	総 数
実人数								
延人数								

(2)男女別利用人数(H26.4～H27.3の1年間の状況)(人)

	男	女	総数
実人数			
延人数			

(3)介護度別利用人数 (H26.4～H27.3の1年間の状況) (人)

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	総 数
実人数								
延人数								

(4)利用日数 (H26.4～H27.3の1年間の状況) (人)

	3日以内	7日以内	10日以内	14日以内	15日以上	21日以上	30日以上	総数
実人数								
延人数								

14. 平成26年度の実績や課題を踏まえて、平成27年度はどのような方針や目標で運営しようと思っていますか。

また、その方針や目標に対して具体的にどのような取組をしますか。

(方針・目標)

職員が長く勤められる、勤めたいと思える環境づくり。
入居者様の状態に合わせグループホームにしかない個別ケアの実施。

(取組み)

就業環境の見直しを図り、だれもが気持ちよく働ける環境づくりを実行する。
ご家族様との交流に焦点を置き、入居者様が本当に望む事を実行していく。

1. 前回実績報告での平成25年度の方針・目標

5年以上の入居されている利用者がいます。徐々にADLも低下し、身体介助が必要になってきていますが、日々ADLを落とさないように出来る限りADLを大切にしながら徐々に終期まで終わるようにケア・運営をしていきます(9名中7名)

2. 上記1の目標・方針に対する平成25年度の実績

出来る限り自分の足で歩くように限界まで手引き歩行を行っている。

3-1. 平成25年度のケアについての取組及びその課題

誤嚥性肺炎にならないように食事形態に工夫していた。

3-2. 平成25年度のリスクマネジメントへの取組と課題に感じたこと

急変について頻回にあった。急変時適切に対応できるようにする。
スタッフの急変時対応の研修が必要である。

3-3. 平成25年度の地域との関わりを持つための活動と課題

運動会、下校見張り等、地域会議。

4. 平成25年度運営推進会議実施回数

6回

5-1. 介護支援サポーターの受入れ人数

年間12回

5-2. (介護支援サポーターが活動している(た)場合の)活動内容

話し相手・行事の参加・散歩

6. 介護相談員の受け入れを行っていますか。(平成25年3月31日現在)

☒ はい ☐ いいえ

5. 平成25年度防災訓練・避難訓練実施回数

2回

6. 平成25年度に市に事故報告書を提出した件数

2件

7. 平成25年度看取り件数

0件

8-1. 平成25年度苦情件数

0件

8-2. 平成25年度に受けた苦情の主な内容・対応方法

--

9. 相談を受けたがサービス利用に至らなかった主な理由

--

10. 入居者・待機者等の状況

(1) 平成25年度(H25.4～H26.3)1年間の状況

①年齢別状況

(人)

	平成25年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平成26年1月	2月	3月
入居者	9人	9人	9人	9人	9人	8人	9人	9人	9人	9人	9人	9人
退去者	人	人	人	人	人	1人	人	人	人	人	人	人

②男女別状況

(人)

	男	女	総数
入居者		1	1
退去者	1		1

③介護度別

(人)

	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	総数
入居者		1	2	4	1	1	9
退去者		1					1

(2) H26.3.31現在の状況

①年齢別状況

(人)

	65歳未満	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	総数
入居者					3	4	2	9

②男女別状況

(人)

	男	女	総数
入居者	1	8	9

③介護度別待機者

(人)

	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	総数
待機者							

(3)平均入居期間 5 年 力月

(4)平均待機期間 年 力月

(5)今年1年間の退去の主な理由

誤嚥性肺炎

11. 短期入所利用状況(短期入所の届出がある場合のみ)

(1)年齢別利用人数(H25.4～H26.3の1年間の状況) (人)

	65歳未満	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	総 数
実人数								
延人数								

(2)男女別利用人数(H25.4～H26.3の1年間の状況)(人)

	男	女	総数
実人数			
延人数			

(3)介護度別利用人数 (H25.4～H26.3の1年間の状況) (人)

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	総 数
実人数								
延人数								

(4)利用日数 (H25.4～H26.3の1年間の状況) (人)

	3日以内	7日以内	10日以内	14日以内	15日以上	21日以上	30日以上	総数
実人数								
延人数								

12. 平成25年度の実績や課題を踏まえて、平成26年度はどのような方針や目標で運営しようと思っていますか。

また、その方針や目標に対して具体的にどのような取組をしますか。

(方針・目標)

平成26年度同様入居者様の身体レベル重度化にあたり、病気にかかるリスクが高くなるが出来る限り身体レベルを低下させないようIADLを実施していく。

(取組み)

一人一人の状況を把握し、ご家族様との良質な関係を取りながら今後の重度化したご入居者様に対して適切な対応に心がける。

1. 平成25年度実績報告での平成26年度の方針・目標

スタッフの育成を重点的に行いたい。勤務時間の融通性を含めた待遇面の改善、福祉用具の導入による介護負担の軽減を目指したい。

2. 上記1の目標・方針に対する平成26年度の具体的取組(内容、頻度等詳しくお書きください)

上記方針の通り、スタッフ育成に重点を置き月1回行うサービス会議の場にて待遇方法など、事例検討も 含めたうえで研修を行った。結果、以前に比べ、ご入居者に対する声掛け方法等の改善点もみられた。新たにバスボードや浴槽台などの福祉用具を導入し、スタッフの介護負担軽減やご入居者の安心感に役立てる事が出来た。

3-1. 平成26年度のケアについての取組及びその課題

在宅生活を行っていた頃と、変わらない運動量・活動性を目指し個別対応・個別リハビリ等の対応を行っていただける様取り組んできた。ご入居後のADL低下を完全に防ぐことは難しいが、散歩等の外出する機会を頻繁に取り入れると共に、関節の硬縮を防ぐ運動を取り入れてきた。今回の取り組みを取り入れる事によって、排便コントロールの難しい方も、以前に比べコントロールしやすくなってきた。

3-2. 平成26年度のリスクマネジメントへの取組と課題に感じたこと(事故・ヒヤリハット等)

各スタッフが、周りの状況を確認せずにトイレ誘導などを行う事があり、フロアに目が無い時間が生じてしまう事があった。今何をするべきか、個別で利用者対応を行っている際にも全体の様子が把握できるよう、目を配りながらの対応を周知すると共に、スタッフの役割分担を明確化した。日中帯は、スタッフが3名いる事から、上記対応にて事故防止につなげる事が出来たが、1人対応となる夜間帯には、現在も危険が伴う。入居者個々の行動パターンの把握に努めている。

3-3. 平成26年度の地域との関わりを持つための活動と課題

近隣の八百屋や、スーパー・ホームセンター等ご入居者と共に買い物へ出かけ、交流を図っている

4. 平成26年度運営推進会議実施回数

5 回

5-1. 介護支援サポーターの受入れ回数

79回

5-2. (介護支援サポーターが活動している(た)場合の)活動内容

ご入居者との歌活動。話し相手など。

6. 介護相談員の受け入れを行っていますか。(平成26年3月31日現在)

☒ はい ・ いいえ

7. 平成26年度防災訓練・避難訓練実施回数

2回

8. 平成26年度に市に事故報告書を提出した件数

0件

9. 平成26年度看取り件数

0件

10-1. 平成26年度苦情件数

1件

10-2. 平成26年度に受けた苦情の主な内容・対応方法

身体状況悪化に伴い、往診医師確認後ご家族へ病院受診をお願いする。病院受診後、特になんともないと言われた。こんな事で、呼ぶなと立腹される。往診医師からの指示もあった旨再度説明するも納得されず。今後は何かあった場合は、救急車を呼ぶ事で納得される。

11. 相談を受けたがサービス利用に至らなかった主な理由

まだ見学、検討の段階だったこと。ほかの家族、親族が施設に入れることを反対したため。

12. 入居者・待機者等の状況

(1) 平成26年度(H26.4～H27.3)1年間の状況

①年齢別状況

(人)

	平成26年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平成27年1月	2月	3月
入居者	9人	9人	8人	9人	8人	8人	8人	7人	8人	8人	8人	8人
退去者	0人	0人	1人	0人	1人	0人	1人	0人	0人	0人	0人	0人

②男女別状況

(人)

	男	女	総数
入居者	2	0	2
退去者	1	2	3

③介護度別

(人)

	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	総数
入居者	0	1	1	3	2	1	8
退去者				1	2		3

(2) H26.3.31現在の状況

①年齢別状況

(人)

	65歳未満	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	総数
入居者		2		1		2	3	8

②男女別状況

(人)

	男	女	総数
入居者	3	5	8

③介護度別待機者

(人)

	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	総数
待機者		1		1			1

(3) 平均入居期間 1年 8カ月(現入居者について)

(4) 平均待機期間 0年 3カ月

(5) 今年1年間の退去の主な理由

特別養護老人ホームへの入所。医療行為が必要となったため。

13. 短期入所利用状況(短期入所の届出がある場合のみ)

(1) 年齢別利用人数(H26.4～H27.3の1年間の状況) (人)

	65歳未満	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	総数
実人数								0
延人数								0

(2) 男女別利用人数(H26.4～H27.3の1年間の状況)(人)

	男	女	総数
実人数			0
延人数			0

(3) 介護度別利用人数 (H26.4～H27.3の1年間の状況) (人)

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	総数
実人数								0
延人数								0

(4) 利用日数 (H26.4～H27.3の1年間の状況) (人)

	3日以内	7日以内	10日以内	14日以内	15日以上	21日以上	30日以上	総数
実人数								
延人数								

14. 平成26年度の実績や課題を踏まえて、平成27年度はどのような方針や目標で運営しようと思っていますか。

また、その方針や目標に対して具体的にどのような取組をしますか。

(方針・目標)

前年度に引き続き、スタッフ育成に重点を置くと共に、ご入居者一人ひとりに適した運動機能維持の取り組みを行っていく。

(取組み)

昨年同様、様々な研修・事例検討などを行い、スタッフの共通認識を深めていきたい。また、今年に入り看護師も配置された事から、医療面での研修も取り入れ知識を増やしていきたい。
集団で行う体操や、日々の活動を通して、ご入居者個々のADLやROMの確認を行う。その上で、個別ケアに取り組ん

